

# 御殿場市市町村合併アンケート調査

## 報告書

平成 20 年 12 月

御殿場市



\* \* \* 目 次 \* \* \*

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査項目	1
	(3) 調査の設計	1
	(4) 回収状況	1
	(5) 総括	2
2	調査結果	3
	回答者の属性	3
	問1 最近、道州制や市町村合併、広域連携について報道されていますが、関心をお持ちですか。 次の中から1つお選びください。	4
	問2 御殿場市の将来を考えた場合、市町村合併や広域連携をするべきであるとお考えですか。 次の中から1つお選びください。	6
	問3 問2で「市町村合併を進めるべきである」とお答えいただいた方に伺います。	8
	問4 問2で「広域連携を進め、将来的には市町村合併を進めるべきである」とお答えいただいた方に伺います。	14
	問5 問2で「広域連携のみを進め、市町村合併は進めるべきでない」とお答えいただいた方に伺います。	20
	問6 問2で「広域連携も市町村合併も進めるべきでない」とお答えいただいた方に伺います。	23
	自由回答(おもな意見)	24

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

この調査は、道州制や御殿場市の合併等について市民の意向を把握し、今後の取組みの参考とするための基礎資料を得ることを目的として実施した。

## (2) 調査項目

- ・回答者の属性
- ・道州制や市町村合併、広域連携についての関心
- ・御殿場市にとって市町村合併や広域連携が必要であるかについて
- ・市町村合併を進める理由、進めたくない理由
- ・広域連携を進める理由
- ・市町村合併のタイミング
- ・市町村合併をする場合の人口規模
- ・市町村合併をする場合の合併先市町
- ・合併に伴う行政サービス低下や負担増加について
- ・道州制が導入された場合の圏域について

## (3) 調査の設計

- ・調査対象：御殿場市在住の20歳以上の市民2,200人を無作為抽出
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収
- ・調査期間：平成20年10月16日～平成20年10月30日

## (4) 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
2,200	863	39.2%

\*\*\*\*\*

### 報告書を見る際の注意事項

回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してある。

百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。

1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

## ( 5 ) 総括

今回の調査は、2,200 人に対する郵送調査で、有効回収数 863、有効回収率 39.2%であり、市町村合併という市民生活にも密接に関わる事柄の意識調査であったものの、回収率は低めであった。

しかし、回答者の中では、市町村合併に関心を持つか(問1)という設問に対して、“関心がある”と過半数が回答している。また、御殿場市は市町村合併や広域連携をするべきか(問2)という設問に対しては、市町村合併も広域連携も進めるべきでない(現状維持)という回答はわずか6.1%の一方、現状よりは市町村合併あるいは広域連携を進めるべきと考える市民が8割弱であり、今後の御殿場市にとって、合併や広域連携は必要と考える市民が多いことがわかった。

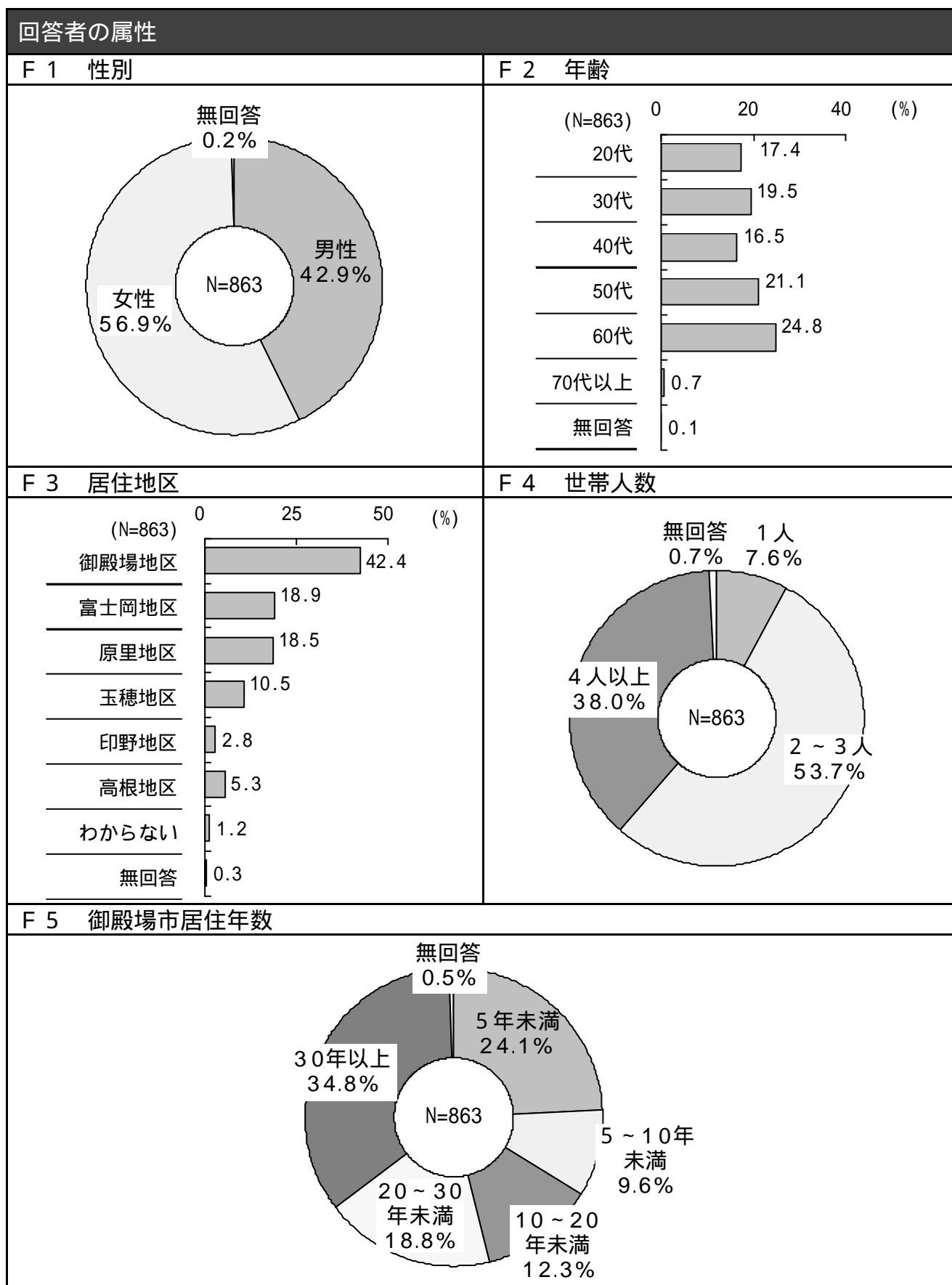
次に、問3～6は、問2で選択した回答別に答える設問が異なっているが、同様の設問内容から得られる結果はほぼ同様であった。

まず、市町村合併あるいは広域連携を進めたい理由(問3-2・問4-1・問5-1)として、「教育・医療・福祉などで、質の高いサービスが期待できる」が最も多く寄せられた回答であり、市民が市に対して特に要望している点であることがわかった。

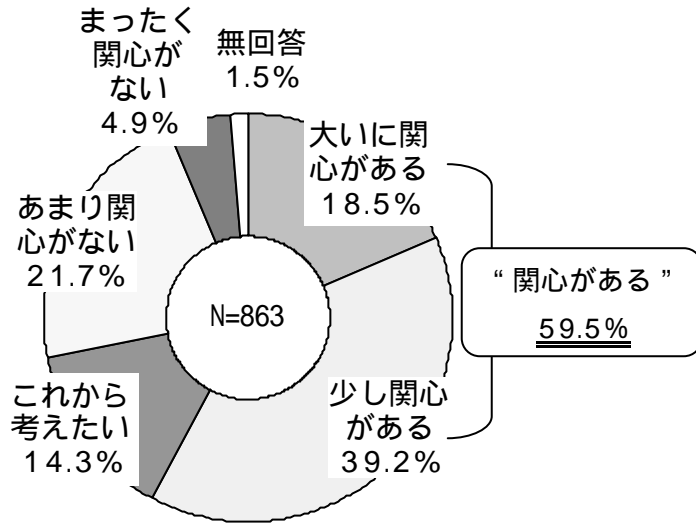
また、市町村合併をする場合の人口規模(問3-3・問4-3)は20万人程度が良いと思う市民が最も多く、どの市町村との合併が適当か(問3-4・問4-4)という設問に対しては、小山町と裾野市という回答が圧倒的であった。さらに、道州制に移行するとしたら、南関東圏域に入るのが良い(問3-6・問4-6・問5-3・問6-3)と考える市民が7割以上を占めている。

最後に、市町村合併によって、行政サービスの内容が低下したり、市民の負担が増加する事業があっても、合併を進めるべき(問3-5・問4-5)という設問に対して、「そう思う」という回答も4割程度であり、合併を必要と考える市民の中では、市町村合併は道州制などを見据えると避けて通れない重要な問題と捉えていると考えられる。

## 2 調査結果



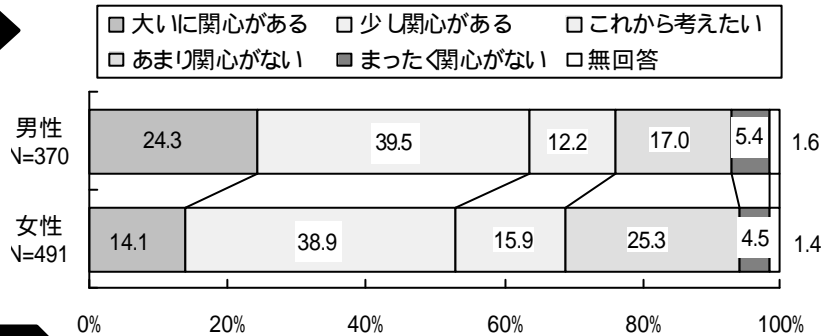
問1 最近、道州制や市町村合併、広域連携について報道されていますが、関心をお持ちですか。次の中から1つお選びください。



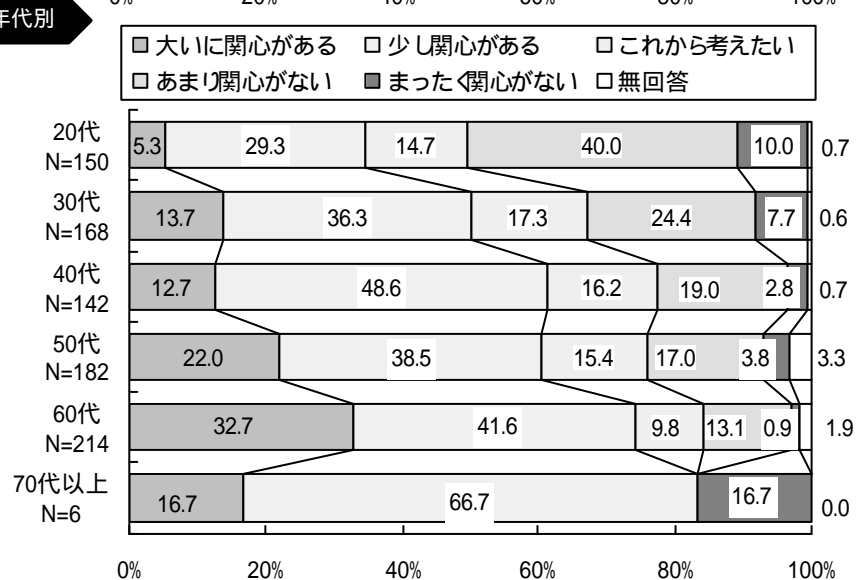
「大いに関心がある」18.5%と、「少し関心がある」39.2%の合計は59.5%となり、全体の約6割は、「関心がある」と回答している。一方、「あまり関心がない」「まったく関心がない」の合計は26.6%で約4人に1人の割合となっている。

クロス集計

**性別**  
性別にみると、男性では女性に比べて「関心がある」が約10ポイント高く63.8%となっている。

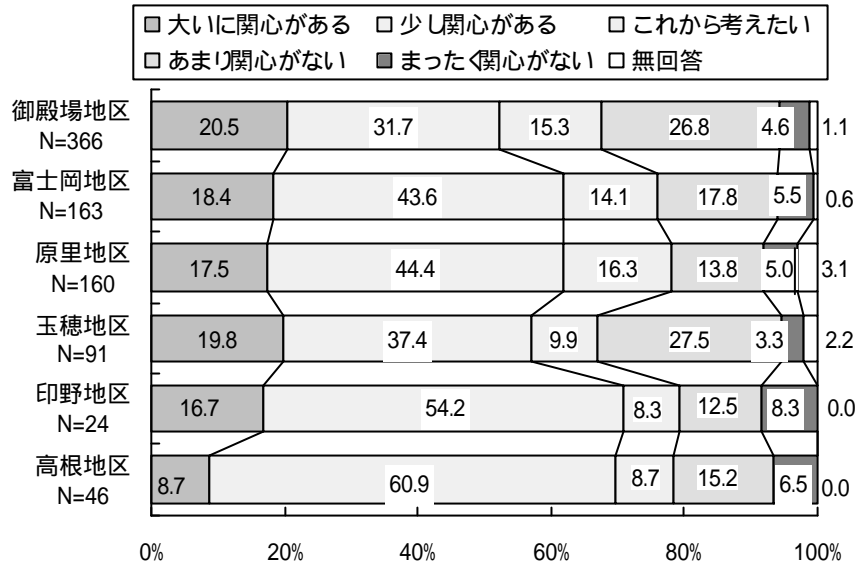


**年代別**  
年代別にみると、20代では「関心がない」が「関心がある」を上回るが、30代以上ではその比率が逆転している。また、年代が上がるにつれ「関心がある」は高くなっている。



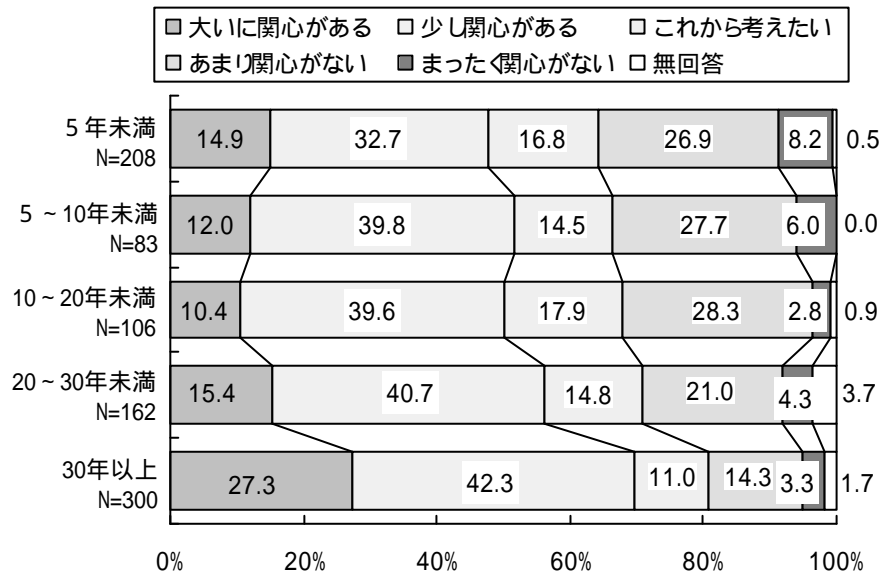
### 居住地別

居住地別にみると、印野地区、高根地区では“ 関心がある ” は約7割となっている一方、御殿場地区では52.2%となっており、その差は 20 ポイント近く開いている。しかし、御殿場地区では「大いに関心がある」という回答は20.5%と他の地区に比べて最も高い割合を示している。



### 居住年数別

居住年数別にみると、5年未満では“ 関心がある ” は半数以下だが、30年以上では約7割となっており、居住年数が長くなるにつれ、“ 関心がある ” が多くなっている。

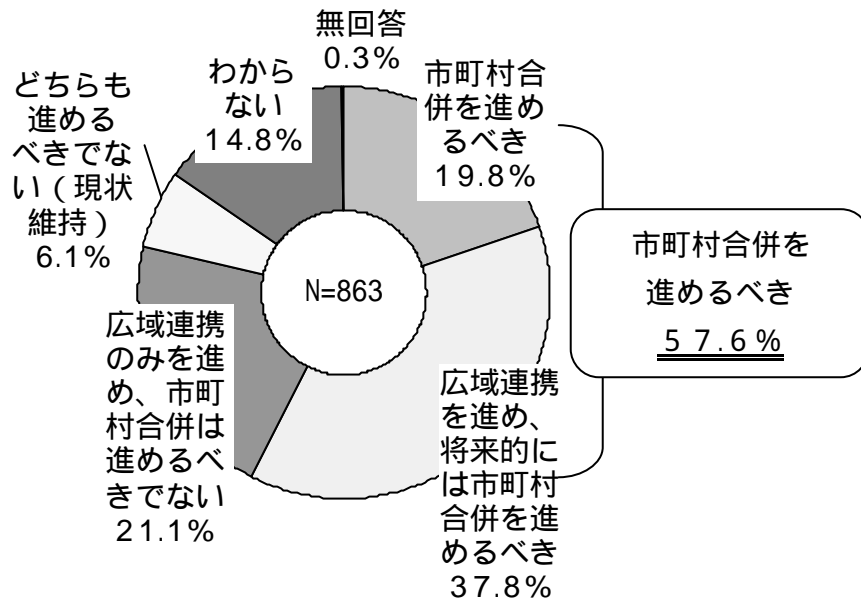


### ポイント

約6割が、合併・広域連携等に“ 関心がある ” と回答している。  
特に、60代以上では“ 関心がある ” は70%を超える。  
しかし、女性で“ 関心がある ” は約半数。



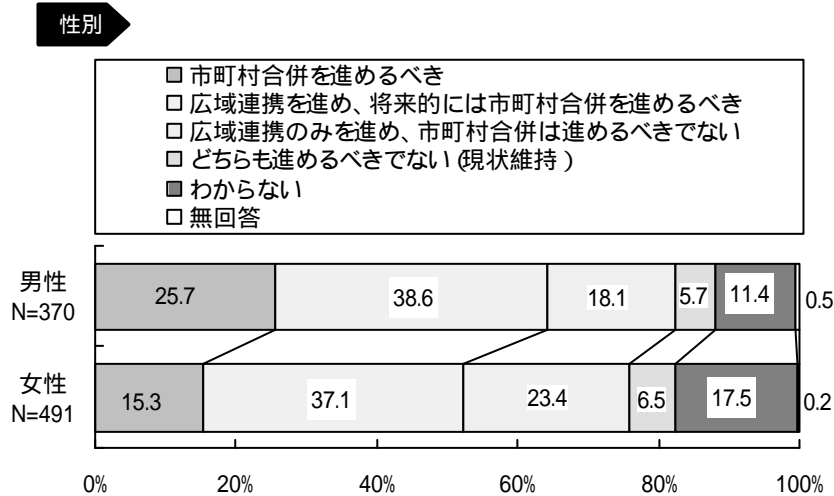
問2 御殿場市の将来を考えた場合、市町村合併や広域連携をするべきであるとお考えですか。次の中から1つお選びください。



「市町村合併を進めるべき」19.8%と、「広域連携を進め、将来的には市町村合併を進めるべき」37.8%の合計は57.6%となり、過半数が“市町村合併を進めるべき”と回答している。

また、「どちらも進めるべきでない(現状維持)」は6.1%と少数派となっており、ほとんどの市民は現状維持ではなく市の形態には今後変化が必要と考えていることがわかる。

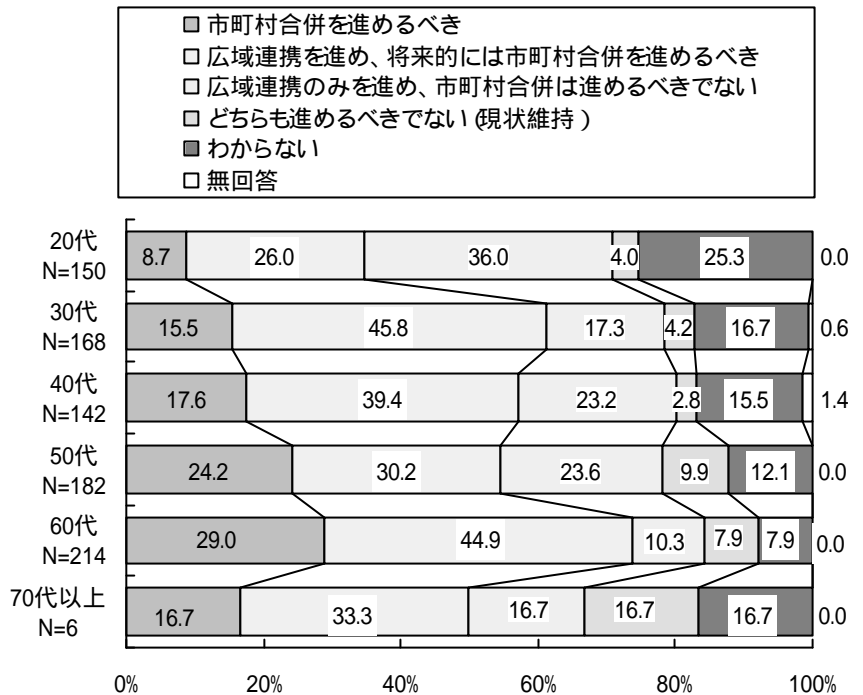
クロス集計



性別にみると、女性では「広域連携のみを進め、市町村合併は進めるべきではない」、「どちらも進めるべきでない(現状維持)」の両方とも男性に比べて割合が高くなっており、市町村合併に対して男性よりも消極的な姿勢の人が多くいることがわかる。

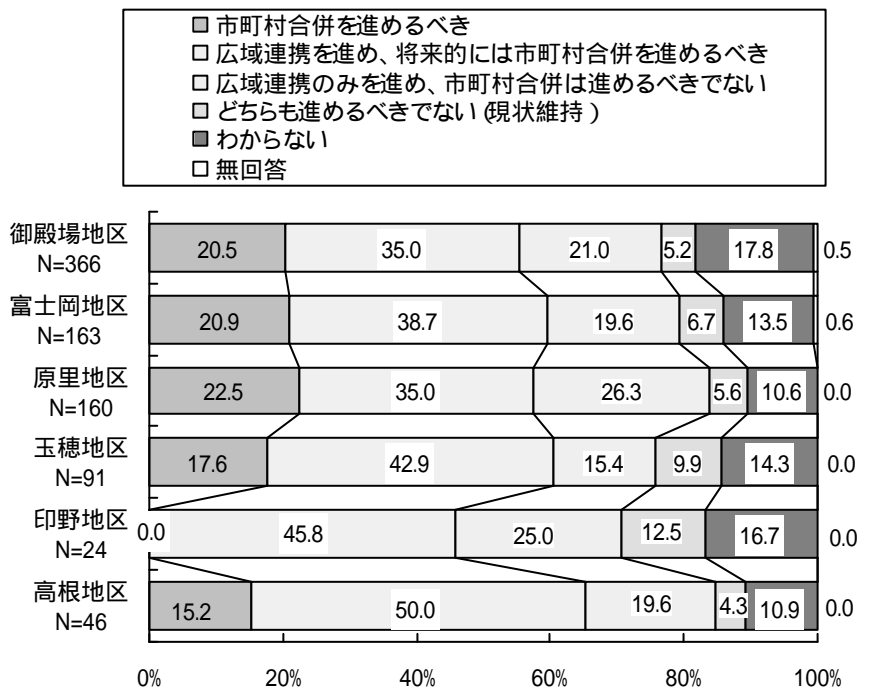
年代別

年代別にみると、60代では「市町村合併を進めるべき」「広域連携を進め、将来的には市町村合併を進めるべき」の合計が他の年代と比べて最も高く、73.9%となっている。次いで、30代が12.6ポイント下回って61.3%となっている。一方、20代では34.7%と他の年代と比べて最も低くなっている。



居住地別

居住地別にみると、全体数の少ない印野地区のみやや例外的な比率となっているものの、他の地区ではほぼ同じような比率となっているため居住地による考え方の違いはないといえる。

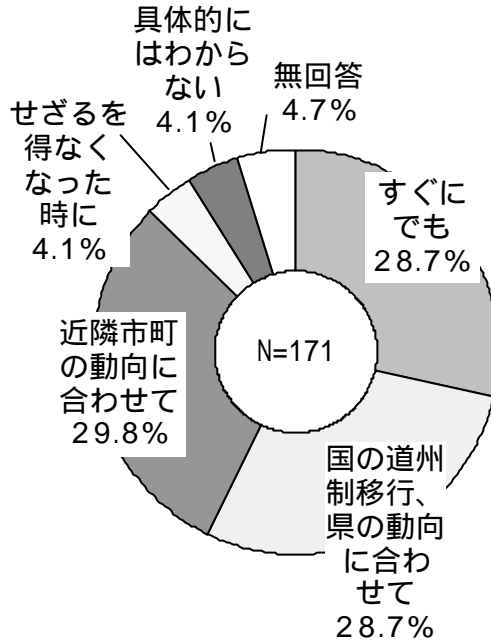


ポイント

市町村合併を“進めるべき”と考える市民は、57.6%。  
女性の方が、合併に対して消極的な人が多い。  
市町村合併を“進めるべき”と最も多く回答しているのは、60代。20代では、望んでいない市民の方が多い。

問3 問2で「市町村合併を進めるべきである」とお答えいただいた方に伺います。

問3 - 1 市町村合併をする時期はどのタイミングが良いと考えますか。  
次の中から1つお選びください。

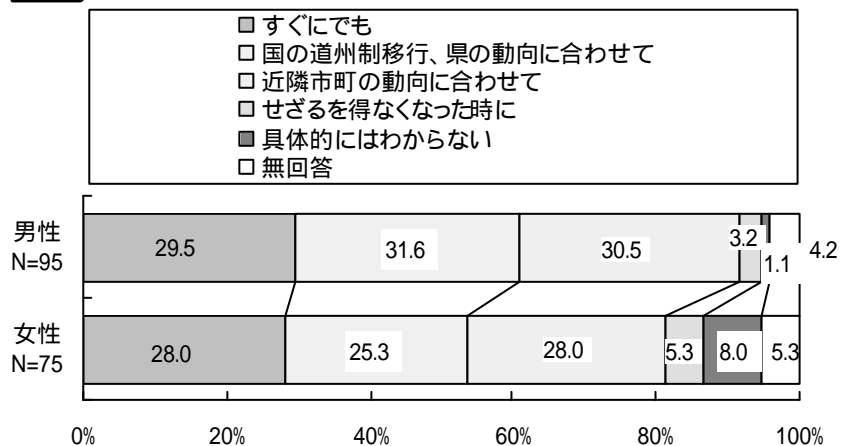


「近隣市町の動向に合わせて」が29.8%と最も多く、次いで僅差で「国の道州制移行、県の動向に合わせて」と「すぐにでも」が同率の28.7%となっている。

クロス集計

性別

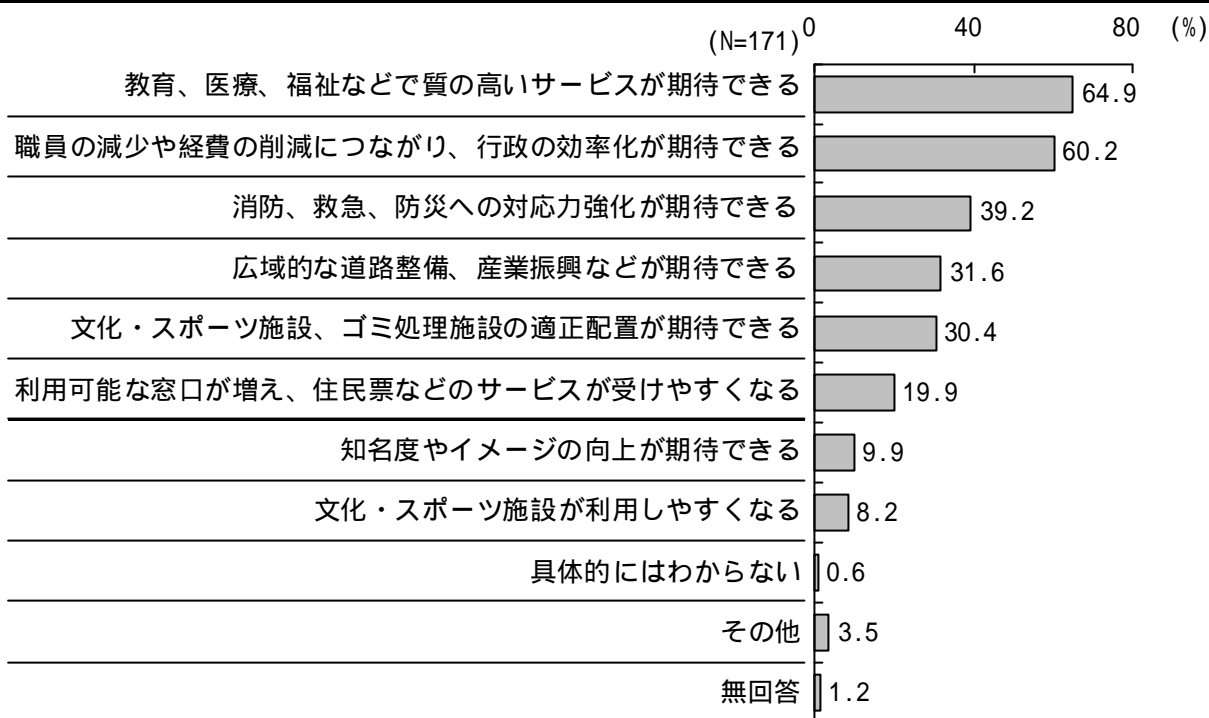
性別にみると、男性では女性に比べて「国の道州制移行、県の動向に合わせて」が6.3ポイント高く31.6%となっている。一方、女性では男性に比べて「具体的にはわからない」が6.9ポイント高く8.0%となっている。



ポイント

市町村合併のタイミングは、「すぐにでも」「国の道州制移行、県の動向に合わせて」「近隣市町の動向に合わせて」がほぼ同率となり、市民の意見は分散している。

問3 - 2 市町村合併を進める理由はどのようにお考えですか。  
次の中から3つ以内でお選びください。

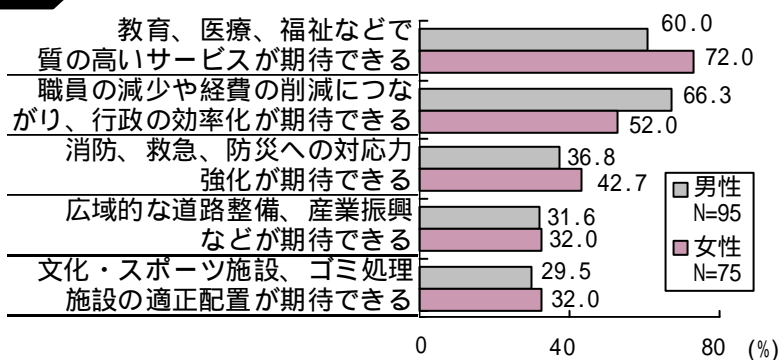


市の規模が大きくなることにより、「教育・医療・福祉などで、質の高いサービスが期待できる」が64.9%と最も多く、次いで「職員の減少や経費の削減につながり、行政の効率化が期待できる」が60.2%、「消防・救急・防災への対応力強化が期待できる」が39.2%となっている。

クロス集計

上位5項目について性別にみると、女性では男性に比べて「教育・医療・福祉などで、質の高いサービスが期待できる」が12ポイント高く72.0%となっている。一方、男性では女性に比べて「職員の減少や経費の削減につながり、行政の効率化が期待できる」が14.3ポイント高く66.3%となり、性別で1位と2位が逆転している。

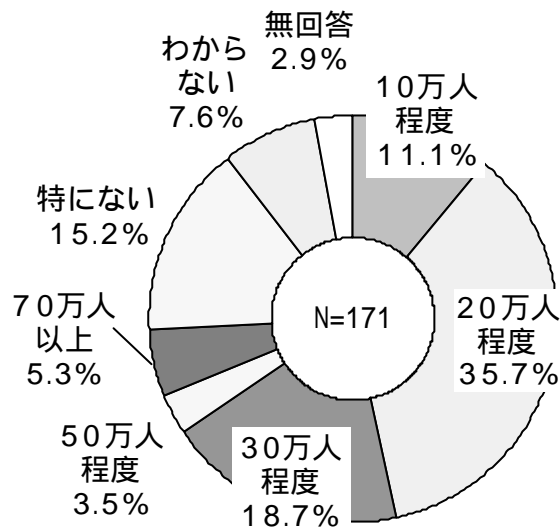
性別



ポイント

市町村合併に期待されていることは、「教育・医療福祉サービスの充実」、行政のスリム化・効率化」。  
女性は、特に「教育・医療福祉サービスの充実」に期待を寄せている。

問3 - 3 市町村合併をする場合の人口の適正規模はどれくらいが良いとお考えですか。次の中から1つお選びください。



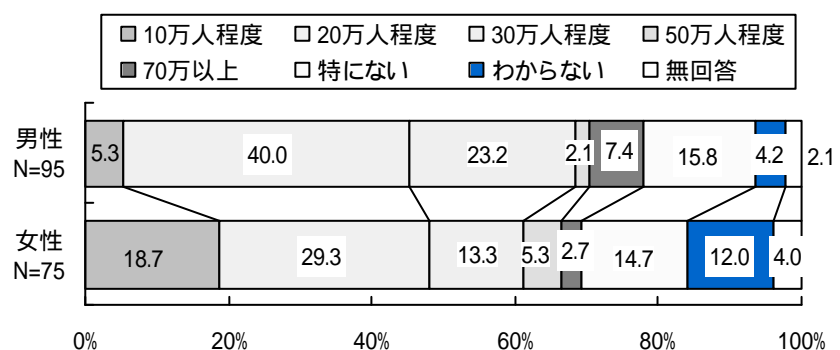
「20万人程度」が35.7%で最も多く、次いで「30万人程度」が18.7%、「特にない」が15.2%となっている。現在の人口規模の2～3倍程度までに要望が集中し、「50万人程度」や「70万人以上」といった大規模の市町村合併は期待されていないことがわかる。

クロス集計

性別

性別にみると、男性では、「20万人程度」が40.0%で最も多くなっている。

一方女性では、現在の人口規模と変わらない「10万人程度」が18.7%で男性に比べて10ポイント以上多いが、男性同様「20万人程度」が29.3%と最も多くなっている。



ポイント

現状維持～2, 3倍程度の人口規模の合併を望む市民で過半数を占め、大規模合併を望む市民は、1割に満たない。

問3 - 4 現在、御殿場市の人口は約9万人です。市町村合併を進める場合、どの市町村との合併が適当であるとお考えですか。適当と思う市町村を次の中からいくつでも選択してください。

(N=171)

1位	小山町	90.1
2位	裾野市	79.5
3位	長泉町	35.1
4位	清水町	16.4
5位	箱根町	15.8
6位	三島市	15.2
7位	沼津市	14.6
8位	富士市	8.2
9位	函南町	5.8
10位	富士吉田市	5.8
11位	熱海市	5.8
12位	山中湖村	5.8
13位	富士宮市	4.7
14位	富士河口湖町	3.5
15位	伊豆の国市	2.3
16位	伊豆市	1.8
17位	伊東市	1.8
18位	下田市	1.8

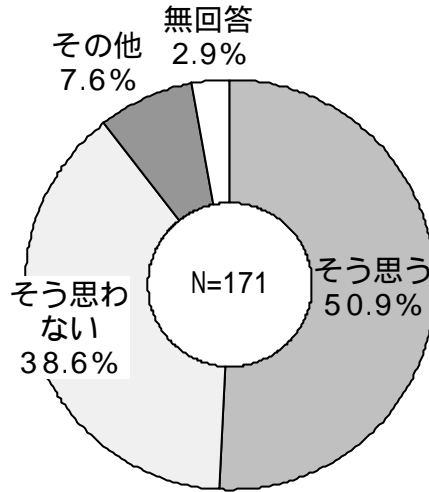
(%)

「小山町」が90.1%で最も多く、次いで「裾野市」が79.5%、「長泉町」が35.1%となっている。隣接している2市町村に支持が集中しており、その他の市町村との合併を望んでいない市民が多いことがわかる。

ポイント

合併の相手として「小山町」と「裾野市」に圧倒的な支持。

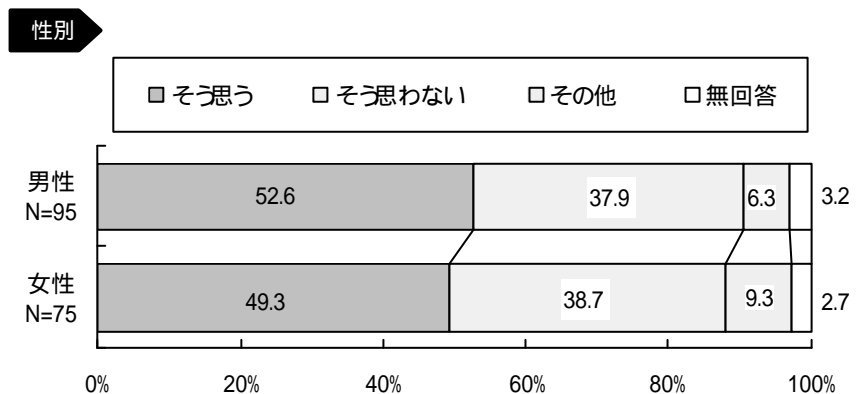
問3 - 5 各市町の行政サービスや負担には差があります。市町村合併によって、行政サービスの内容が低下したり、みなさんの負担が増加する事業があっても、合併を進めるべきであると思いますか。次の中から1つお選びください。



「そう思う」が50.9%で約半数を占めており、「そう思わない」は38.6%となっている。市町村合併を進めるべきと回答している市民の2人に1人は、市民にとってはデメリット要素が発生したとしても今後の市にとって合併が必要と考えていることがわかる。

### クロス集計

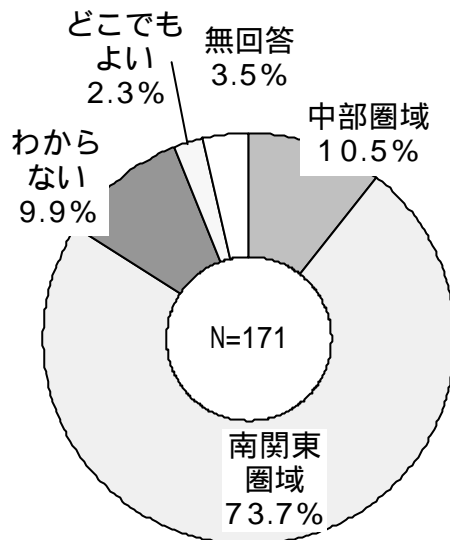
性別にみると、男性では女性に比べて「そう思う」が3.3ポイント高く、52.6%で過半数を占めている。



### ポイント

合併を進めるべきと考える市民の2人に1人は市町村合併によって、行政サービスの内容が低下したり、負担が増加したとしても合併を進めるべきと考えている。

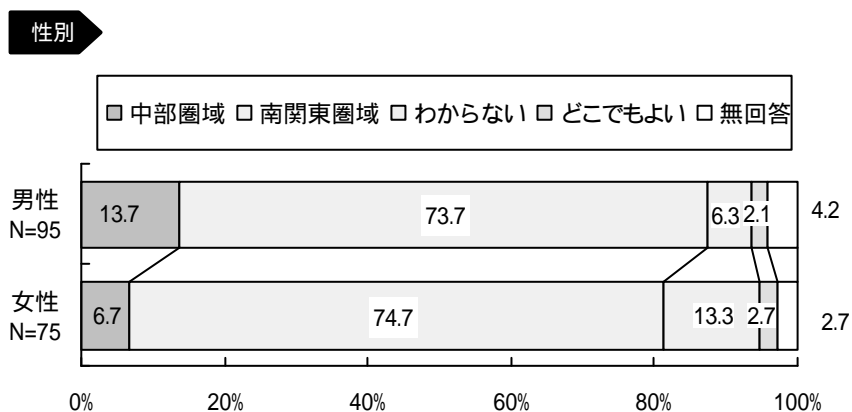
問3 - 6 都道府県から道州制に移行する議論がありますが、道州制に移行するとしたら、御殿場市はどの圏域に入るのがいいと思いますか。  
次の中から1つお選びください。



「南関東圏域」が73.7%で多数を占めている。また、「どこでもよい」はわずか2.3%となっており、市民の主張が明確に表れる設問となっている。

### クロス集計

性別にみると、男性では女性に比べて「中部圏域」が7ポイント高く13.7%となっている。一方、女性では男性に比べて「わからない」が7ポイント高く13.3%となっている。



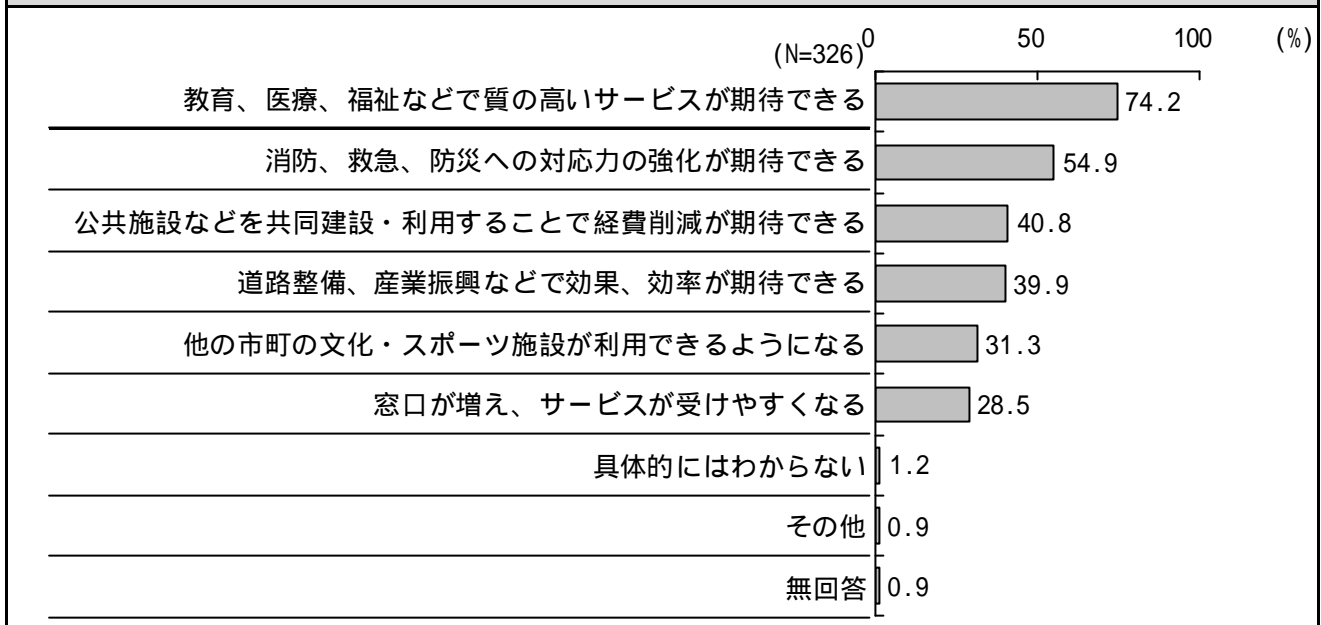
### ポイント

道州制に移行するとしたら、御殿場市は「南関東圏域」に入るべきと考える市民が73.7%と大多数。「中部圏域」という回答は約1割。



問4 問2で「広域連携を進め、将来的には市町村合併を進めるべきである」とお答えいただいた方に伺います。

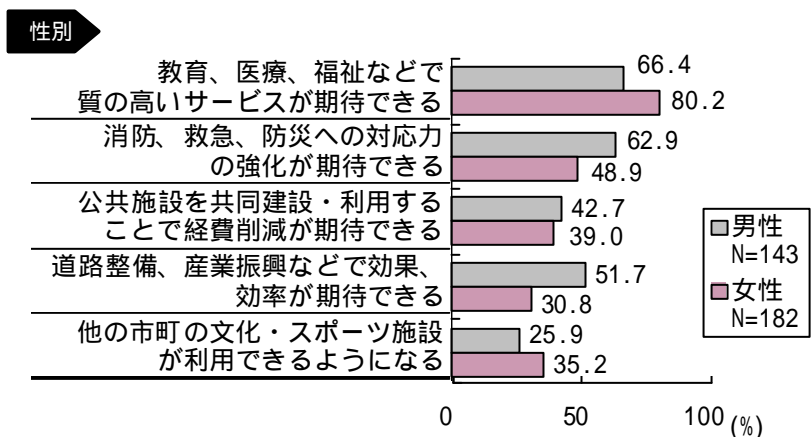
問4 - 1 広域連携を進める事業の内容や理由について、どのようにお考えですか。次の中から3つ以内でお選びください。



連携して取り組むことにより、「教育・医療・福祉などで質の高いサービスが期待できる」が最も多く、74.2%、次いで「消防・救急・防災への対応力の強化が期待できる」が54.9%、「公共施設などを共同で建設・利用することにより、経費の削減が期待できる」が40.8%となっている。1位の行政サービスの向上を望む声が特に高く、2位以下を約20ポイント以上引き離す割合となっている。

クロス集計

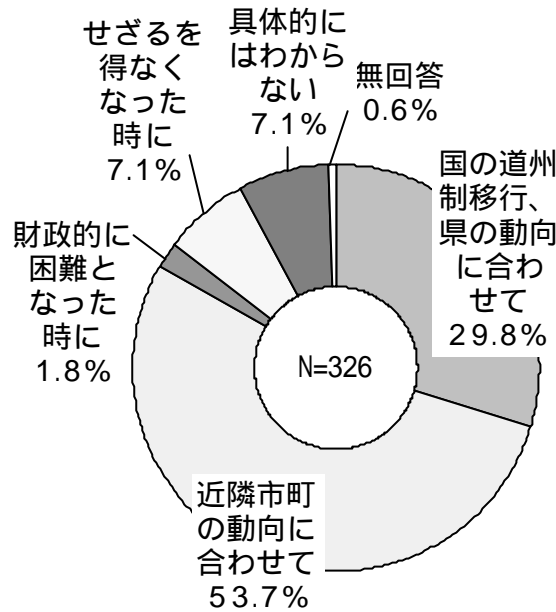
上位5項目について性別にみると、女性では「教育・医療・福祉などで、質の高いサービスが期待できる」が80.2%となっており、特に期待を寄せている人が多いことがわかる。



ポイント

広域連携や市町村合併に期待されているのは、「教育・医療福祉サービスの充実」。

問4 - 2 将来的に市町村合併をする場合は、どのタイミングが良いと考えますか。  
次の中から1つお選びください。

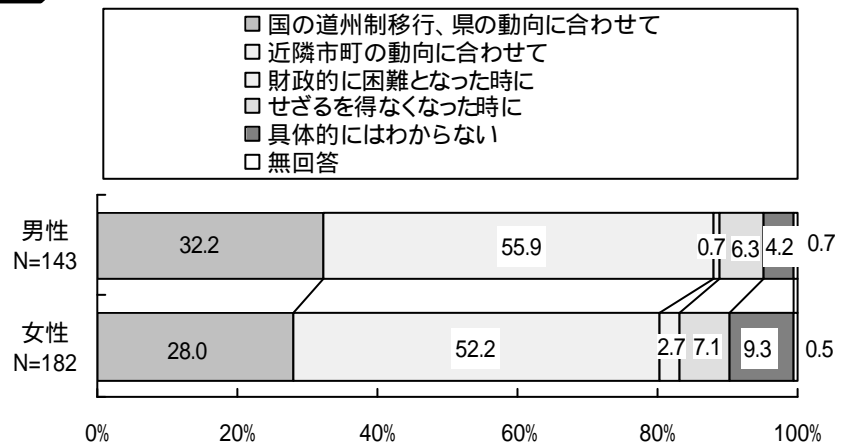


「近隣市町の動向に合わせて」が53.7%と過半数を占めている。次いで「国の道州制移行、県の動向に合わせて」が29.8%、「せざるを得なくなったときに」「具体的にはわからない」が同率で7.1%となっている。

クロス集計

性別

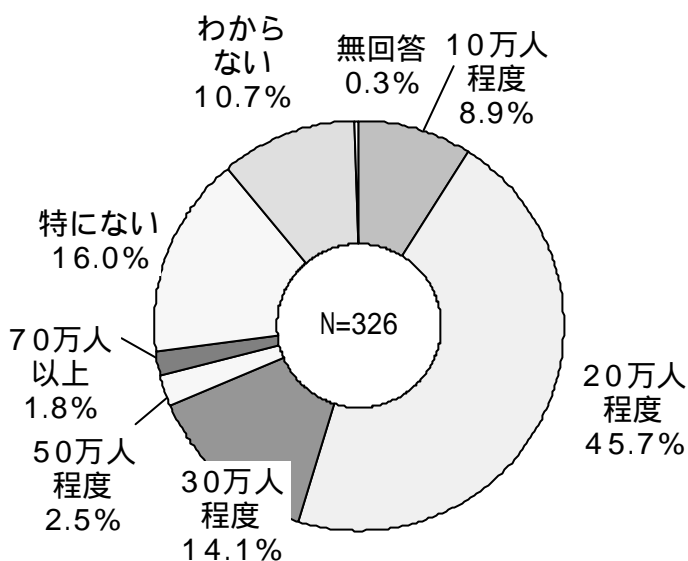
性別にみると、男性では「国の道州制移行、県の動向に合わせて」「近隣市町の動向に合わせて」といった外的要因でタイミングを見計らう人が女性よりも多くなっている。一方、女性では男性に比べて「具体的にはわからない」が5.1ポイント高く9.3%となっている。



ポイント

市町村合併のタイミングは、「近隣市町の動向に合わせて」が良い、と考える市民が半数以上。

問4 - 3 市町村合併をする場合の人口の適正規模はどれくらいが良いとお考えですか。次の中から1つお選びください。

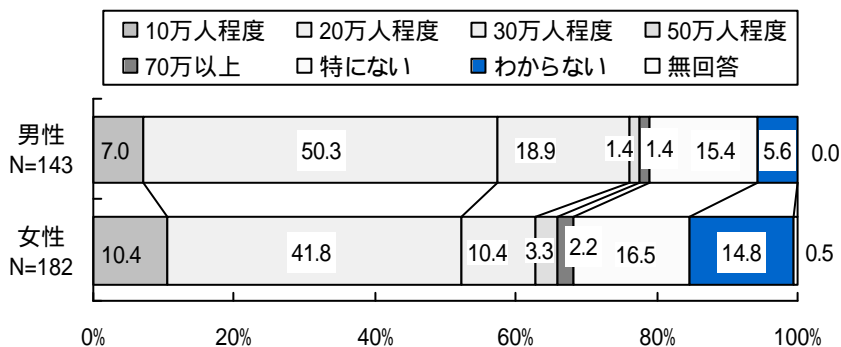


「20万人程度」が45.7%で最も多く、次いで「特にない」が16.0%、「30万人程度」が14.1%となっている。現在の2倍程度の人口規模への要望が約半数を占め、「50万人程度」や「70万人以上」といった大規模の市町村合併を望む市民は多くないことがわかる。

### クロス集計

性別

性別にみると、男性では女性に比べて「30万人程度」が8.5ポイント高く18.9%となっており、「20万人程度」に次ぐ割合となっている。



### ポイント

現在の2倍程度の人口規模の合併を望む市民が約半数。  
大規模合併を望む市民はほとんどいない。

問4 - 4 現在、御殿場市の人口は約9万人です。市町村合併を進める場合、どの市町との合併が適当であるとお考えですか。適当と思う市町を次の中からいくつでも選択してください。

(N=326)<sup>0</sup>

1位	小山町	94.5
2位	裾野市	78.2
3位	長泉町	30.7
4位	箱根町	12.3
5位	三島市	8.3
6位	沼津市	7.1
7位	清水町	5.5
8位	山中湖村	3.4
9位	富士吉田市	2.1
10位	富士市	1.8
11位	富士宮市	1.5
12位	函南町	1.2
13位	富士河口湖町	0.3
14位	伊豆の国市	0.3
15位	熱海市	0.3
16位	伊豆市	0.0
17位	伊東市	0.0
18位	下田市	0.0

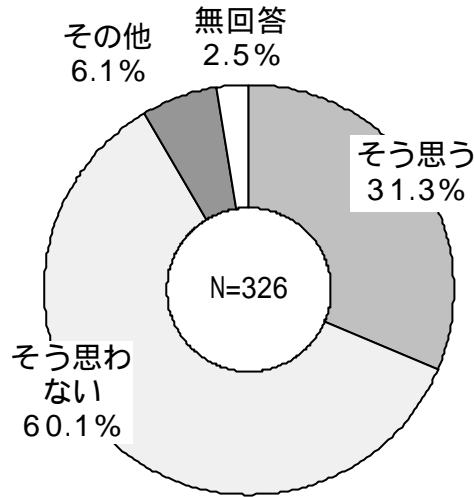
(%)

「小山町」が94.5%で最も多く、次いで「裾野市」が78.2%、「長泉町」が30.7%となっている。隣接している2市町に支持が集中しており、その他の市町村との合併を望んでいない市民が多いことがわかる。

ポイント

合併の相手として「小山町」と「裾野市」に圧倒的な支持。

問4 - 5 各市町の行政サービスや負担には差があります。市町村合併によって、行政サービスの内容が低下したり、みなさんの負担が増加する事業があっても、合併を進めるべきであると思いますか。次の中から1つお選びください。

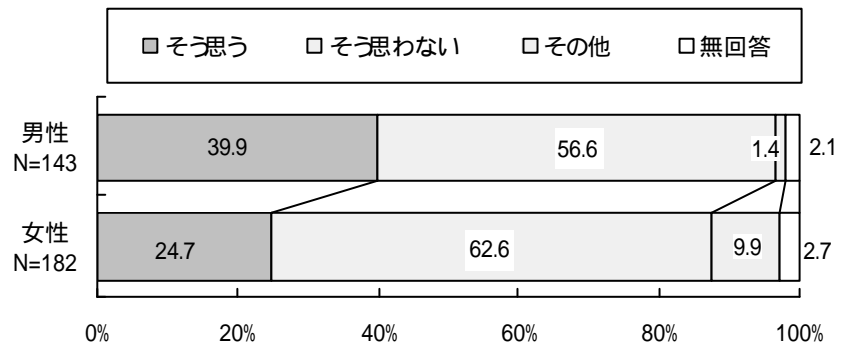


「そう思わない」が60.1%で過半数を占めており、「そう思う」は31.3%となっている。合併が将来の御殿場市にとって必要だとしても行政サービスの低下や負担の増加を招いてまでも合併を進める必要はないと考える市民が多いことがわかる。

#### クロス集計

##### 性別

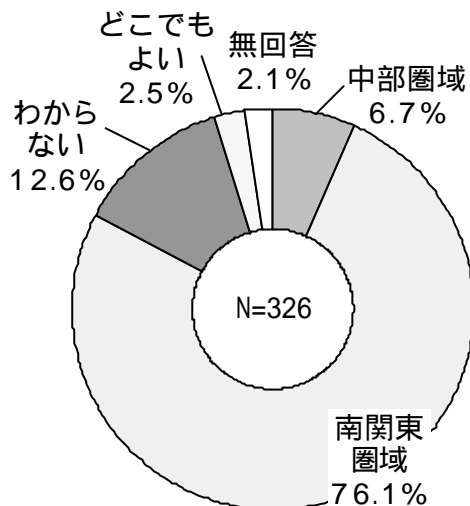
性別にみると、男性では女性に比べて「そう思う」が15.2ポイント高く39.9%となっている。一方、女性では男性に比べて「そう思わない」が6ポイント高く62.6%となっている。



#### ポイント

行政サービスの低下や負担の増加を招いてまで合併する必要はない、と考える市民が60.1%。  
女性の方がその割合はさらに高い。

問4 - 6 都道府県から道州制に移行する議論がありますが、道州制に移行するとしたら、御殿場市はどの圏域に入るのがいいと思いますか。  
次の中から1つお選びください。

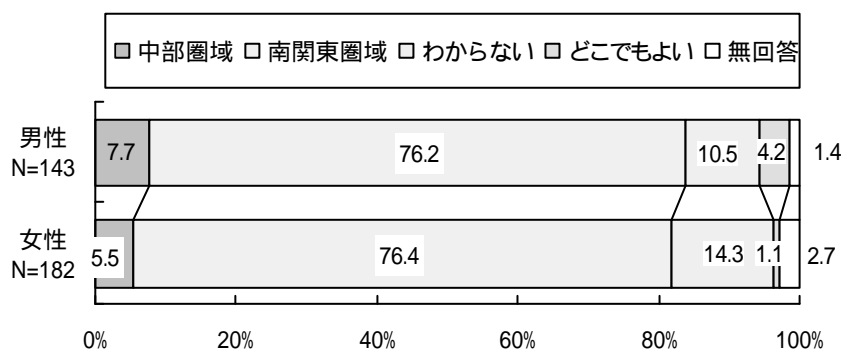


「南関東圏域」が76.1%で多数を占めている。「中部圏域」という回答は6.7%に過ぎず、御殿場市民にとって、中部圏よりも南関東圏をなじみ深く感じていることの表れといえる。また、「どこでもよい」はわずか2.5%となっており、主張が明確に表れる設問となっている。

クロス集計

性別

性別にみると、比率にほぼ変化はなく、考え方の違いはないといえる。

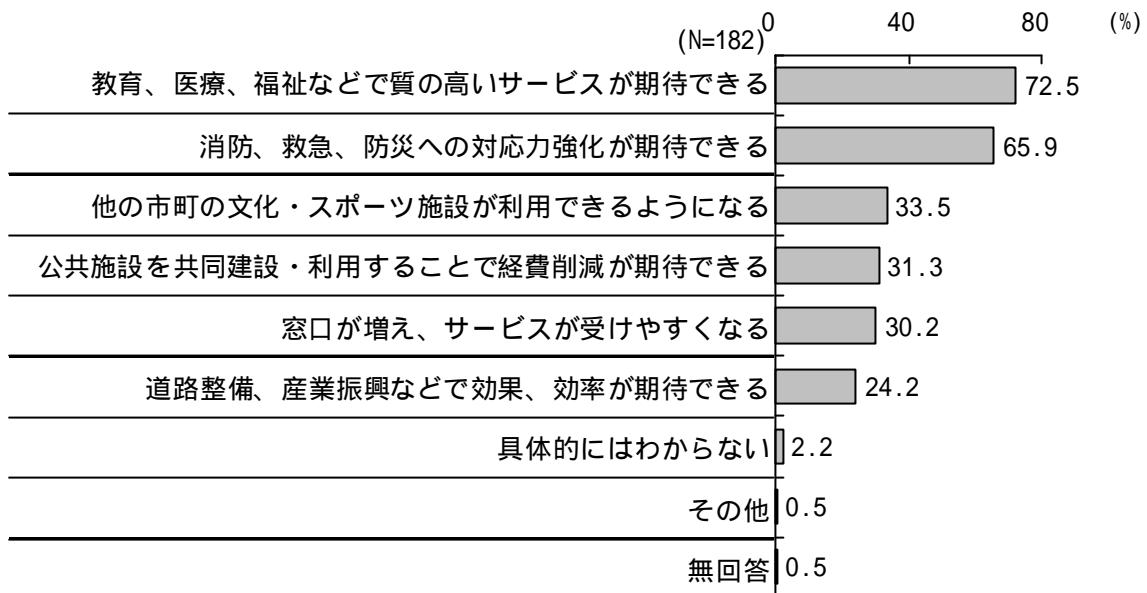


ポイント

道州制に移行するとしたら、約4人に3人が御殿場市は「南関東圏域」に入るべきと考えている。

問5 問2で「広域連携のみを進め、市町村合併は進めるべきでない」とお答えいただいた方に伺います。

問5 - 1 広域連携を進める事業の内容や理由について、どのようにお考えですか。次の中から3つ以内でお選びください。

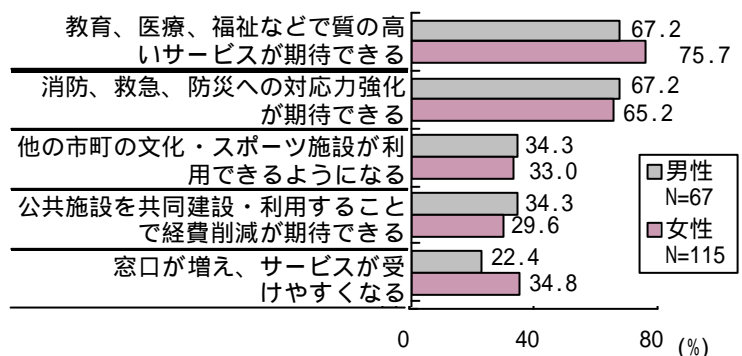


連携して取り組むことにより、「教育・医療・福祉などで質の高いサービスが期待できる」が最も多く、72.5%、次いで「消防・救急・防災への対応力の強化が期待できる」が65.9%、「他の市町の文化・スポーツ施設が利用できるようになる」が33.5%となっている。上位2項目が3位以下を大きく引き離す割合となっており、特に要望が多いことがわかる。

#### クロス集計

上位5項目について性別にみると、男性では「教育・医療・福祉などで質の高いサービスが期待できる」と「消防・救急・防災への対応力の強化が期待できる」が同率1位で67.2%となっているが、女性では「教育・医療・福祉などで質の高いサービスが期待できる」に寄せる期待が75.7%で特に多く、2位の「消防・救急・防災への対応力の強化が期待できる」より10ポイント以上高くなっている。

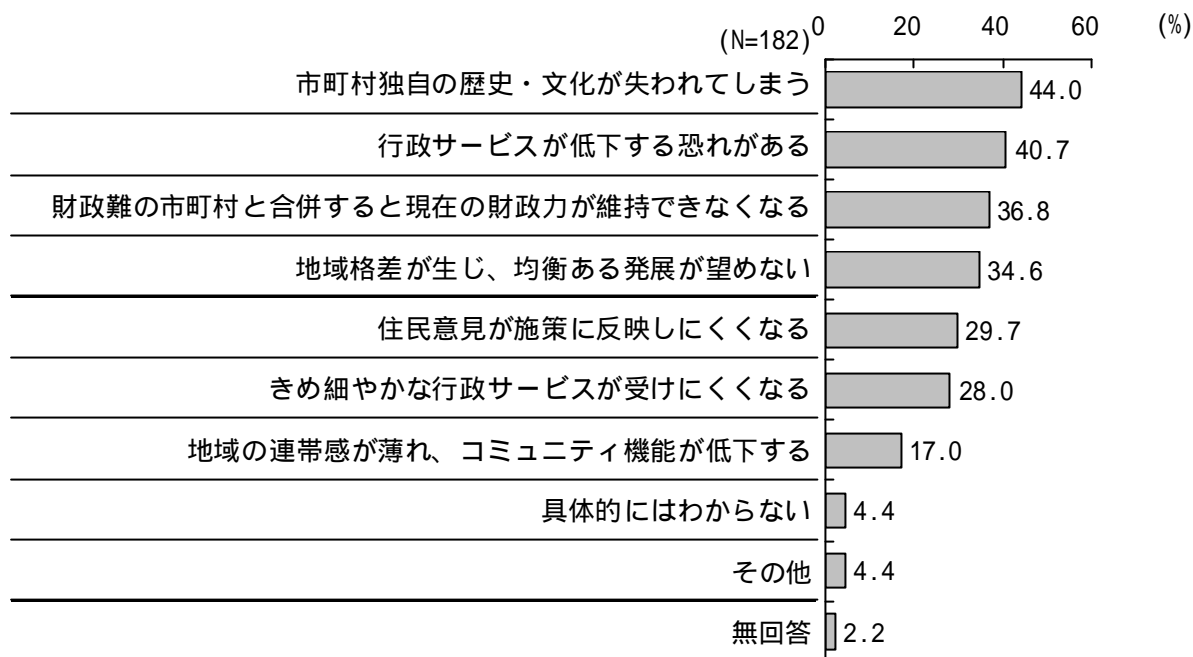
#### 性別



#### ポイント

広域連携に期待されていることは、「教育・医療福祉サービスの充実」と「消防・救急・防災への対応力強化」。

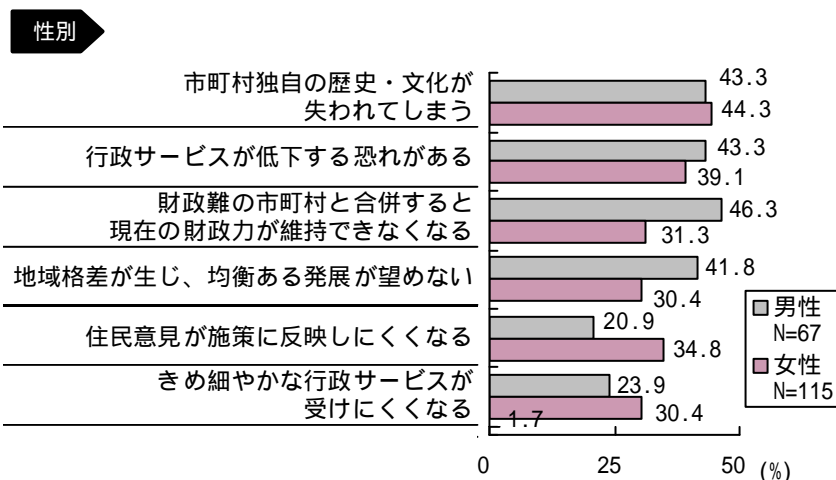
問5 - 2 将来的にも市町村合併をするべきでないとお考えになる点は何ですか。  
次の中から3つ以内でお選びください。



「市町村独自の歴史・文化が失われてしまう」が44.0%で最も多く、次いで「行政サービスが低下する恐れがある」が40.7%、「財政難の市町村と合併すると現在の財政力が維持できなくなる」が36.8%となっている。

クロス集計

上位6項目について性別にみると、男性では「財政難の市町村と合併すると現在の財政力が維持できなくなる」が最も多い回答で女性に比べて15ポイント高く46.3%となっている。一方、女性では男性に比べて「住民意見が施策に反映しにくくなる」が13.9ポイント高く34.8%となっている。

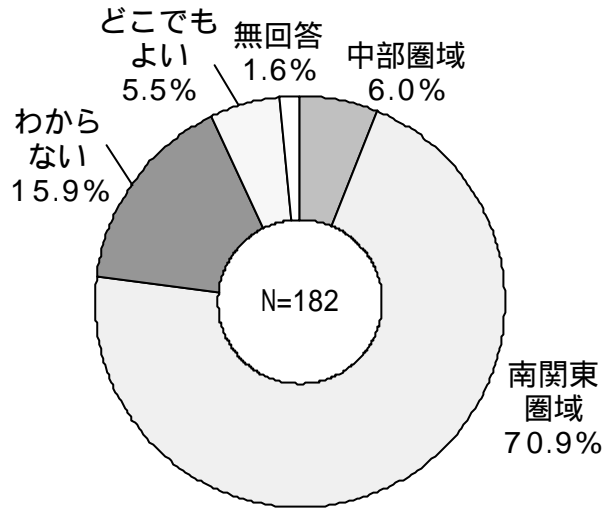


ポイント

市町村合併するべきでない理由1位は、「市町村独自の歴史・文化が失われてしまう」だが、圧倒的な支持を得る理由は存在せず、市民の意見は分散化傾向にある。



問5 - 3 都道府県から道州制に移行する議論がありますが、道州制に移行するとしたら、御殿場市はどの圏域に入るのがいいと思いますか。  
次の中から1つお選びください。

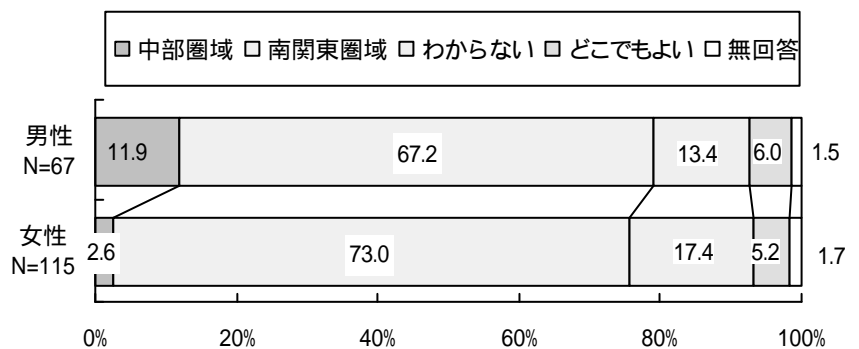


「南関東圏域」が70.9%で多数を占めている。「中部圏域」という回答は6.0%に過ぎず、御殿場市民にとって、中部圏よりも南関東圏をなじみ深く感じていることがわかる。また、「どこでもよい」はわずか5.5%となっており、主張が明確に表れる設問となっている。

クロス集計

性別

性別にみると、男性では女性に比べて「中部圏域」9.3ポイント高く11.9%となっている。



ポイント

道州制に移行するとしたら、御殿場市は「南関東圏域」に入るべきと考える市民が約7割と大多数を占める。

問6 問2で「広域連携も市町村合併も進めるべきでない」とお答えいただいた方に伺います。

問6 - 1 広域連携を進めるべきでないとお考えになる理由は何ですか。  
次の中から3つ以内でお選びください。

(N=53)

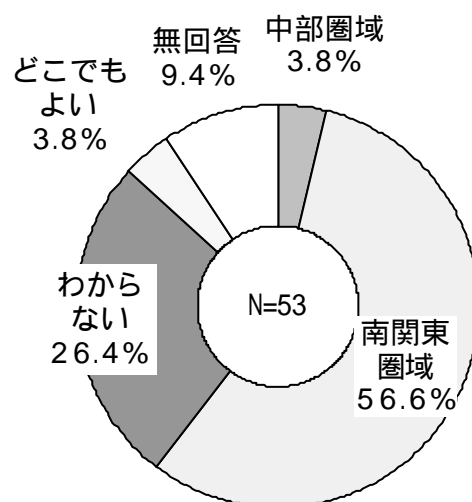
1位 地域特性があるので、連携する必要がない	64.2	(%)
2位 共同の公共施設などが遠方で不便になる可能性がある	52.8	
3位 市町単独でできないことは国や県に任せる	41.5	

問6 - 2 市町村合併を進めるべきでないとお考えになる理由は何ですか。  
次の中から3つ以内でお選びください。

(N=53)

1位 きめ細やかな行政サービスが受けにくくなる	47.2	(%)
2位 行政サービスが低下する恐れがある	41.5	
3位 市町村独自の歴史・文化が失われてしまう	37.7	

問6 - 3 都道府県から道州制に移行する議論がありますが、道州制に移行するとしたら、御殿場市はどの圏域に入るのがいいと思いますか。  
次の中から1つお選びください。



ポイント

広域連携を進めるべきでない理由、「必要がない」から。  
市町村合併を進めるべきでない理由、「行政サービスが低下する恐れ」から。  
道州制に移行するとしたら、御殿場市は「南関東圏域」に入るべき、が過半数を占める。

## 自由回答（おもな意見）

### 今回のアンケートについて

- ・市町村合併による具体的なメリット・デメリットの提示がされておらず、内容説明が乏しい。
- ・市町村合併を進めるべきかどうかを問われても判断基準がなく回答しづらい。
- ・内容が難しい。

### 市町村合併・道州制について

- ・市町村合併を早計に進めるべきではない。
- ・合併先は小山町がいい。
- ・早く市町村合併を進めて無駄をなくし、行政のスリム化を図ってほしい。
- ・市民にとってメリットがあるなら市町村合併を進めるべきだが、デメリットの方が多ければ進めるべきではない。
- ・道州制が導入されるなら関東圏に入りたい。
- ・合併しても「御殿場」の名前は残してほしい。

### 市行政に対する要望

#### 医療福祉サービスの充実

- ・市の医療体制は未熟、不十分である。
- ・総合病院がほしい。

#### 子育て支援対策

- ・医療費助成をしてほしい。（隣接の裾野市・小山町を例に挙げて）

#### まちの活性化

- ・お店が少ない、買い物が不便。
- ・商店街の活性化、大型ショッピングセンターの誘致、駅前開発をしてほしい。

#### 観光の発展

- ・観光客にとって御殿場市は通過点に過ぎない、観光客誘致策を取ってほしい。
- ・観光に力を入れてほしい。（観光開発、観光名所の創設）